

昭和57年度 和歌山県文化賞

たて はた かく ぞう
建 畠 覚 造

住 所：東京都豊島区

出 身 地：東京都

生 年：大正8年

◎業績及び経歴

建畠弥一郎(号、大夢)の長男として少年時代から父の影響を受け、描くこと、彫刻を作ることに興味をもつようになる。

昭和12年、東京美術学校(現、東京芸術大学)彫刻科塑造部に入学。在学中から直土会彫刻展などに出品したが、特に昭和16年には第4回文部省美術展に出品し特選を受賞。同年、同校を首席で卒業する。

昭和18年、第3回野間賞を受賞。同年、父の遺作作品集「建畠大夢」を刊行する。

昭和19年、在仏印日本文化会館館員としてサイゴンへ赴任し、現地の美術学校で彫刻を指導したり、文化交流のための展覧会を開催する。

昭和21年、帰国後、直ちに制作に努め数々の美術展に出品し受賞した。同25年、「行動美術協会彫刻部」新設に参画し同会員となる。

昭和29年、第1回国際造形芸術家会議(イタリア、ベニス)に日本代表団の一員として出席する。

国内展は勿論、国際展への出品も枚挙にいとまがないが主なものとしては、昭和42年の第10回高村光太郎賞、昭和56年の第12回中原悌二郎賞などがある。

また本年2月には和歌山県立近代美術館に於いて特別展が開催されたのをはじめ、長野市野外彫刻賞受賞の他、カーネギー美術館(アメリカ)の国際展へ招待出品している。

なお、紀三井寺運動公園の黒潮国体(昭和46年)モニュメント「波」は氏の作であり、和歌山県立近代美術館には「MANJI」(1982年作)など54点が

収蔵されている。

■現在

日本大学講師

行動美術協会会員